



印記からわかる本の持ち主

本を手に入れた人が自分の所有物であることを宣言するために捺したハンコが「蔵書印」です。言い方をかえれば、蔵書印によって、その本のかつての持ち主がわかるわけです。今回は、和装古書を整理している中で見つけることのできた蔵書印をいくつかご紹介します。

「勝安芳」勝海舟 文政6 - 明治32 (1823-1899)



いわずと知れた明治維新の幕府側の立役者。「安芳」は別名で、官職だった「安房守」を、維新後変えたものです。海舟の蔵書は、第二次世界大戦で分散し、現在でも古書店に現れることがあるそうです。

ル120-240 『はちかづき』

寸法：3.0×2.0cm

「式亭」「三馬」式亭三馬 江戸後期の戯作者 安永5 - 文政5 (1776-1822)



ル156-4 黄表紙

『鸚鵡返文武二道』

寸法：1.4×1.4cm



ル151-21 浮世草子

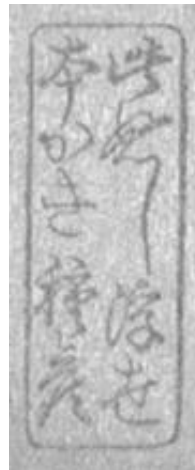
『新板繪入契情於国歌舞伎』

寸法：1.6×1.2cm

生涯で百数十点の合巻、洒落本、滑稽本等を著しました。代表作に江戸町人の様子を描いた『浮世風呂』『浮世床』等があります。当代一の文壇通であり、侠客肌でした。

「此ぬし浮世本かき種彦」柳亭種彦

江戸後期の戯作者 天明3 - 天保13 (1783-1842)



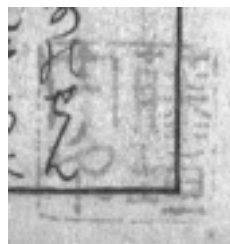
合巻『偽紫田舎源氏』が代表作です。天保13年、天保の改革で戯作活動を咎められ、その渦中で亡くなりました。元禄期小説、戯曲、古俳書を多く収集し、それを元に随筆等を著しています。

ル219-3 『茶場百首歌』

寸法：3.7×1.3cm

「藤垣内印」本居大平 (おおひら)

本居宣長の養子 宝暦6 - 天保4 (1756-1833)



ル205-33

『和歌手習』

寸法：3.0cm 四方

13歳の時に宣長に入門、宣長の旅行のお伴をした時、信頼を得て、宣長の盲目の実子にかわって、本居家の家督を相続しました。宣長ほどの独創はありませんでしたが、その学問を継承、普及した功績は大きく、門人は1万人にも及びました。「藤垣内(ふじのかきつ)」は大平の別号です。

「竹柏園文庫」佐佐木信綱 歌人、万葉学者

明治5 - 昭和38 (1872-1963)



東大において、「万葉集」の研究等に多くのすぐれた実績を残しました。また、古写善本を多数発見し、その紹介にも努めました。

「竹柏園(なぎぞの)」は信綱の号です。

ル219-17 『跡云草』

寸法：5.1×2.0cm

「白井氏蔵書」白井光太郎 植物学者

文久3 - 昭和7 (1863-1932)



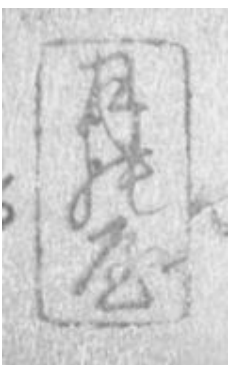
伝統的本草学の最後の継承者。また、わが国の植物病理学の創始者でもあります。

ル210-80 『後撰集詞のつかね緒』

寸法：2.4cm 四方

「月の屋」横山由清 国学者

文政9 - 明治12 (1826-1879)



和学講談所の教授。
維新後は、制度法律の勉強をし、元老院権少書記官として、旧典類纂の編集に努め、晩年は東京帝国大学法学部で古代法制史の講師となりました。「月の屋」は和歌を教えてくれた義母が「月の屋桂子」と称したので、それをついだとも思われます。

ル130-8

『栄花索引』

寸法：1.9×1.0cm

「高の蔵書」高野辰之 日本芸能史家

明治9 - 昭和22 (1876-1947)



東京音楽学校教授となり、堅実な考証的学風で歌謡・演劇史を専攻しました。東京帝国大学での「日本演劇史」の授業は人気があったそうです。

ル120-262 『還城樂之物語』

寸法：直径2.1cm

最後に変わった人を紹介しましょう。

「讀杜艸堂」「天下無雙」 寺田望南

2印を使い分けた明治時代の蒐書家

文部省に勤めていましたが、その職をやめた後は古書の売買、斡旋などで生計をたてていました。



ル120-154

『おちくほ物語』

寸法：1.7cm 四方

「讀杜艸堂」とは、杜甫の詩が好きな寺田が自分の家を「杜甫の作品を読む家」と称したのでしょうか、この印を自分の本にだけでなく、書店が見本に置いていった本や、人から借りた本にまでこの印を捺してしまったそうです。筑波大学にも「讀杜艸堂」印が捺された本が多くみられますが、全て彼の蔵書というわけではないのかもしれませんが。



「天下無雙」印は、その中でも彼が気に入った本に捺したもののようです。さすがにこの印を持つ本は、筑波大学では今のところ、1冊しか見つかっていません。

ス420-33 『茶具圖贊』

寸法：2.1cm 四方

参考文献；

国立國會圖書館蔵書印譜・青裳堂書店、1995 (日本書誌学大系第70巻) [中央 024.9-Ko49]

近代蔵書印譜 / 中野三敏編・青裳堂書店、1984- (日本書誌学大系第41巻) [中央 024.9-N39]

コンサイス日本人名事典・改訂版 三省堂、1990 [中央、体芸 281.033-Sa66]

国書人名辞典 / 市古貞次 [ほか] 編・岩波書店、1993-1999 [中央、体芸 281.03-Ko53]

(古典資料係)